

2 - 3 重点事業評価

事業名

県内図書館等との連携協力の推進

(1) 事業の概要

● 対象

県内の市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関及び県内の各種機関（民間・行政等）

● 意図・目的

本県公共図書館の中核としての役割への期待も大きいことから、県内の市町村立図書館等への協力・支援を行ない、各種の研修により県全体の図書館サービスの充実を図るとともに、各機関との連携協力により、県民に対する幅広い読書推進活動に取り組む。

● 具体的取組の概要

- ① 県内の市町村立図書館・公民館図書室職員を対象に満足度の高い集合研修、訪問研修を実施することで、県全体の図書館サービスの向上を目指す。
- ② 県内全市町村を訪問することで市町村図書館の現状を把握し、適切な助言や情報提供を行うことによって、市町村図書館支援の充実を図る。
- ③ 小規模自治体向けのセット図書長期一括貸出の充実を図ることにより、当該自治体の図書館サービスを支援し、県民の読書環境の充実を図る。

(2) 指標① 目標：毎年度90%以上

項目（指標）	達成目標（数値）			実績
集合研修・訪問研修の参加者満足度（アンケート回答「参考になった」「やや参考になった」の割合）	H30	R1	R2	H30
	90%以上	90%以上	90%以上	100% (111%)

（平成29年度実績：集合研修・訪問研修満足度アンケート 98%）

指標② 達成目標：3か年で全市町村を訪問

項目（指標）	達成目標（数値）			実績
訪問相談実施市町村数	H30	R1	R2	H30
	10市町村	10市町村	10市町村 (全市町村訪問)	13市町村 (130%)

（平成29年度実績：6市町村）

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	AA	集合研修・訪問研修の参加者満足度、及び訪問相談実施市町村数のいずれも目標数値を達成した。
------	----	--

AA 目標が十分に達成された。

A 目標が達成された。

B 目標がある程度達成された。

C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	県内図書館職員の資質向上につながる集合研修・訪問研修、訪問相談は、市町村等のニーズも高く、県立図書館として重要な事業であると考ええる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	集合研修・訪問研修、訪問相談のアンケート結果を見ると、高い満足度と共に今後への期待も高く、一定の成果が上がっているものと考えられる。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	集合研修の企画立案にあたっては、参加者のニーズを反映した内容となるよう努めた。 訪問研修・訪問相談は、各館の希望に沿った内容となるよう事前調整を十分に行うとともに、より多くの市町村を訪問し県内図書館等の現状を把握するよう努めた。

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など
<p>集合研修・訪問研修については、今後もアンケート結果を参考にしつつ、ニーズに合った質の高い研修を実施していきたい。</p> <p>訪問相談については、未実施の市町村についても積極的に働きかけて県内図書館等の現状を把握し、よりの確にサポートできるように取り組んでいきたい。</p>

(5) 図書館協議会意見

<p>集合研修・訪問研修、訪問相談の実績を高く評価する。未実施の市町村図書館等との連携により、次年度以降も計画的に着実に実施することを期待する。</p> <p>研修参加者の具体的な感想や、訪問相談の内容などは、県内の図書館等にとって参考になると考えられるため、公開されることが望ましい。このことは、県立図書館の取組みの一端を対外的にアピールすることにもなる。</p> <p>一方で、訪問研修の内容が「資料の修理や保存の基礎」「レファレンス研修」「パスファインダーの作成」の3種類に留まっていることについて、検討を要望する。県立図書館が近年の状況に応じた多彩な研修内容を設定し提案していくことも必要であると考えられる。</p> <p>訪問相談は、県立図書館職員が県内図書館等の状況や県立図書館に対するニーズを把握するための貴重な機会である。特に公民館図書室に対しては、どのような支援が必要であるかを検討するためにも、複数回訪問することが必要である。また、訪問時には各自治体の学校図書館や公民館・博物館等の状況を把握することも有意義である。</p> <p>セット図書長期一括貸出は、県民の読書環境の向上に直結することから一層の充実が必要である。</p> <p>委員からは、国民文化祭・障害者芸術文化祭事業との連携なども検討してはどうかという提案が出されている。</p>
--